

川南町地域おこし協力隊 募集する隊員の業務内容

①移住コーディネーター

▶現在活動中の隊員2名

<町が抱える課題>

- ・人口減少による地域経済の低迷や自治活動、各種団体の担い手不足などが大きな課題となっています。

<基本的な業務>

- ・移住を考えている方に対し、SNSや移住特設サイトを使った情報発信や、電話・メール・窓口・相談会場などでの移住相談対応、お試し滞在施設の管理などに当たっていただきます。移住相談では、隊員自ら移住の経験を語っていただき、不安を抱える相談者の心情に寄り添い、移住相談窓口の入口の役割を担っていただきます。
- ・実際に川南町へ移住された方の定住促進を図るため、移住者間のコミュニティ作りや交流事業などに取り組んでいただきます。令和5年度は、3回実施しました。

<ステップアップ目標>

- ・関係人口の創出として、移住を考えている人向けの事業から、さらにステップアップして、「川南町に関心がある層」へのアプローチ方法や企画を練っていただきたい。

<業務で関わる地域の人>

- ・まちづくり課の移住担当職員
- ・観光協会や商工会など、町の情報に詳しい人
- ・地域体験を実施している人等

<この仕事に向いている人>

- ・明るい対応ができる方
 - ・他人を援助することを好み、周囲とコミュニケーションを取りながら業務を進められる方
 - ・地域の人と協力関係を築き、真面目に業務に取り組める方
 - ・人と話すのが好きな方
-

② 空き家コーディネーター

<町が抱える課題>

- ・空き家が放置されることにより、環境や景観の悪化、防犯や防災上の不安などが懸念されています
また、土地利用の非効率化により、町の活性化の機会損失を招きかねません。
- ・空き家の有効活用による移住者の増加や、商店の活性化等につながる取組を行うため、専属で行っていただける人材を探しています。

<基本的な業務>

- ・空き家等の有効活用、移住・定住促進（空き家バンク登録推進、空き家等に関する相談、情報発信、関係機関との連携）
-

③ 自由提案

<町が抱える課題>

- ・人口減少による地域経済の低迷や自治活動、各種団体の担い手不足などが大きな課題となっています。

<基本的な業務>

- ・地域の課題を捉え、応募者のこれまでの経験やスキルを生かして、事業計画をご提案いただき、地域活動を行っていただきます。
 - ・任期後も川南町で生活していただくことを想定し、退任後に向けた起業や就業活動を行っていただきます。
-

■ 活動中のサポート体制

- ・隊員・役場担当職員によるミーティング（月1回）
- ・業務や移住生活に関する個人面談（年数回）
- ・地域おこし協力隊 OG による着任時のオリエンテーションや相談対応
- ・研修機会の提供（宮崎県庁や総務省主催研修、その他業務に関わる勉強会への参加）
- ・現役隊員多数活動中のほか、町内には地域おこし協力隊 OB・OG もいるため、活動に困った際は気軽に相談できます！